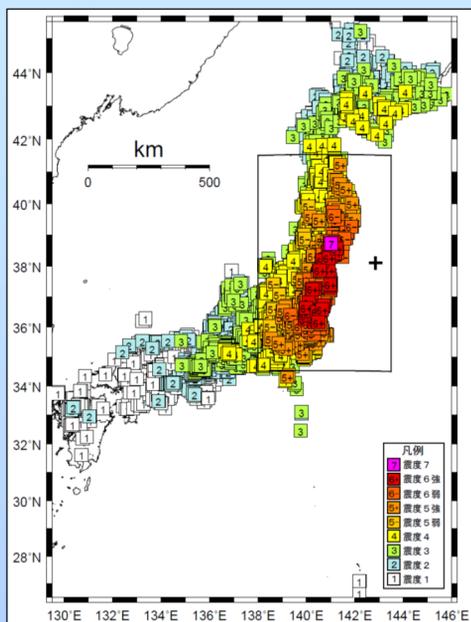


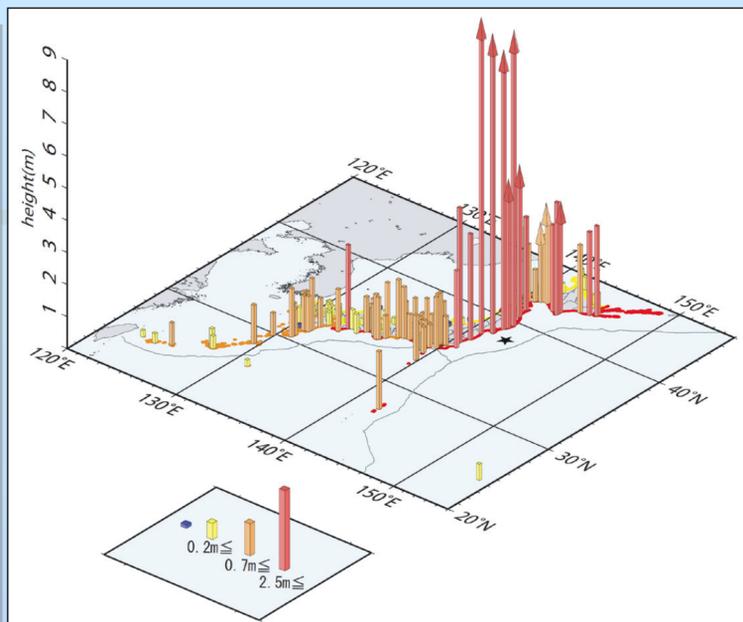
東日本大震災における被災状況

2011年3月に発生した東日本大震災では、国内最大のマグニチュード9（震度7）が観測されました。この強い揺れは東北から関東にかけて極めて広範囲に及び、10mを超える津波も観測されました。

■震度分布（+は震央の位置）



■津波観測施設で観測された津波の高さ



○出典 左図）気象庁：平成23年3月 地震・火山月報（防災編）（2011）

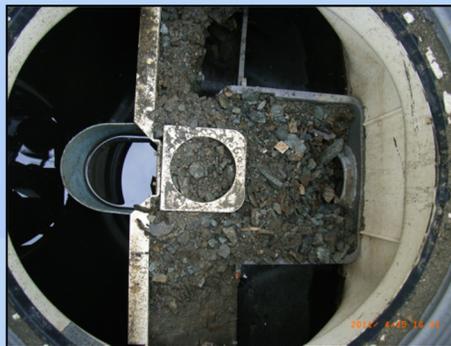
右図）気象庁：平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震調査報告（2012）

環境省では、東日本大震災において約1,000基の浄化槽の被災状況の調査を行いました。東日本大震災は国内で戦後最大の人的、物的被害をもたらし、浄化槽にも多くの被害が発生しました。

■東日本大震災における浄化槽の被災状況



■津波による土砂の流入



■液状化による槽浮上

